

結果の概要

1 登録免許税

令和元年度に全国の法務局及び地方法務局で取り扱った課税登記件数（以下「件数」という。）は865万2051件、納付された登録免許税（以下「納付額」という。）は、6180億4140万円である。

(1) 件数について

登記種別ごとの内訳は、不動産登記が732万5873件、商業・法人登記が129万523件、その他の登記が3万5655件である。

(2) 納付額について

ア 登記種別ごとの内訳は、不動産登記が5539億4949万円、商業・法人登記が606億9963万円、その他の登記が33億9228万円であり、構成比はそれぞれ89.6%、9.8%、0.5%となっている。

イ 平成26年度を100とした指数による推移は、下表のとおりである。

これを登記種別ごとに見ると、不動産登記については、平成27年度、28年度と上昇が続いていたが、平成29年度以降は低下に転じており、令和元年度は101.0ポイントとなっている。

商業・法人登記については、平成29年度まで不動産登記と同様に推移した後、平成30年度は上昇したものの、令和元年度に再び低下に転じており、112.6ポイントとなっている。

その他の登記については、平成30年度まで上昇が続いていたが、令和元年度は低下に転じており、164.2ポイントとなっている。

登録免許税納付額の推移（平成26年度＝100）

種別	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総額	100.0	102.0	107.0	103.8	104.3	102.3
不動産登記	100.0	102.1	107.3	104.3	102.3	101.0
商業・法人登記	100.0	100.7	103.8	98.4	122.6	112.6
その他の登記	100.0	109.3	116.6	129.8	169.5	164.2

2 登記等手数料

令和元年度における登記等手数料の納付額（登記等手数料の種類については、統計表第5表（19-41-5）参照）の総額は、698億9930万円である。

平成26年度を100とした指数による登記等手数料の納付額の推移は、下図のとおり平成30年度まで上昇が続いていたが、令和元年度は低下に転じており、103.9ポイントとなっている。

